

が上昇しましたが、夏の猛暑の影響を受け、出荷乳量は減少しました。

しかしながら当地区は、管内一の乳質を維持していることから成分差額が乳価を更に押し上げ、計画対比で約190万円の増加となる見込みであります。

黒毛和牛は、素牛産地としての評価を高めるため生産組合員一丸となった素牛づくりを進めております。

国内経済不安による消費減退などで枝肉価格の低下が心配されたところですが、昨年の黒毛市場は、素牛の不足感から活況を呈しました。

本年度（平成26年1月末）は、前年度の4億2800万円を超える4億7000万円の取り扱い見込みであります。

軽種馬は、国内経済不況による地方競馬場の相次ぐ廃止、産地間の競合で販売不振、価格低迷が続く、生産農家経営は厳しさを増しております。このため、飼養戸数及び頭数も減少傾向にあります。

昨年の市場販売頭数及び販売額は、275頭で22億1000万円、前年比3頭減で、1億560

0万円の増加となりました。

ホツカイドウ競馬の開催結果は各公営競技で厳しい情勢が続いている中であって、インターネットや電話による馬券発売が大きく伸びたことから発売額は、前年対比16.8%、計画対比を9.9%上回る140億1700万円と2000年以来13年ぶりの高い水準となりました。また、単年度収支においても1991年以来22年ぶりに黒字となる見込みであります。開催期間中、各振興会会員をはじめ、関係者と地域の皆様が一丸となつてご支援頂いた賜物と深く感謝をし、お礼を申し上げます。本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

片岡 禹雄

副組合長

西村 和夫

常務理事

千葉 利一

理事

荒木 孝

伊藤 佳幸

小倉 正信

片岡 博

谷岡 康成

泊岡 雅則

中道 寿幸

信用担当理事

前田 裕志

兼金融部長

代表監事

渡辺 隆

監事

太田 勝之

山口 修二

管理部長

山岸 剛

経営融資部長

兼田 由和

営農部長

荒谷 昭二

経済部長

樺田 文明

外職員一同

